



「ギリシアの追想」 井口保

九州芸文館 特別展

井口保と コレクション展

Tamotsu Inokuchi Collection Gallery

2024 4月27^①日 ▶ 6月23^②日 入場
無料

会場：筑後広域公園 九州芸文館 10:00～17:00
芸術文化交流施設 大交流室
〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131 TEL.0942-52-6435

◆◆◆ 同室において、アートウォールを展示しています。◆◆◆

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は開館し、翌日直近の日が休館日となります。）

主催：ちくごJR芸術の郷事業団（九州芸文館）

九州芸文館
KYUSHU GEIBUN-KAN

九州芸文館 特別展

井口保と コレクション展



九州芸文館では、令和6年度の芸術文化事業として「井口保とコレクション展」を開催します。井口保氏は、郷土筑後市に在住し、家業の「歯科医院」に生涯勤め、信頼され、地域に貢献されてきました。更に、画家としても情熱を注ぎ、洋画団体「示現会」の会員として、中央展や地元久留米での支部展に精力的に作品制作と出品を続けて来られました。

井口氏の作品は、とても明るい色彩と丁寧な筆致に特徴があり、ヨーロッパの風景や度々の洋行で集められた骨董品をモチーフとした静物の写実的描写の作品を制作されました。

また、井口氏は、画家としての交友も広く、画友の作品を数多くコレクションされました。令和6年2月、ご遺族が氏の作品と貴重なコレクションの散逸を考慮され、本館に寄託されました。この機会にこれらの作品を広く公開して、井口氏とご遺族のご意思を尊重し、上記展覧会を企画しました。井口氏の作品と地元画家たちを中心とした、貴重なコレクションをご鑑賞ください。

令和6年4月吉日 九州芸文館



2024年

4月27日 ▶ 6月23日

10:00~17:00 休館日：月曜日
(月曜日が祝日の場合は開館し、翌日直近の日が休館。)



「船底筆筒等」 井口保



「赤い屋根
(ストックホルム)」
井口保
油彩画



油彩画 「卓上」 井口保

油彩画



「牛」 下川都一郎

油彩画



「柿」 坂宗一

油彩画



「干し柿」 溝江勘二

油彩画



「櫃」 内野秀美

油彩画



井口 保

Tamotsu Inokuchi
1923-2018

- 1923年 福岡県八女郡水田村に生まれる
- 1948年 水彩画を始める(船小屋にて初個展)
- 1951年 上京。溝江勘二画伯の薫陶を受ける。
- 1955年 帰郷。坂宗一画伯、豊田勝秋氏の知遇を得る。
- 1968年 内野秀美画伯に師事。
- 1972年 西部示現会展 初出品(以後連続)
- 1973年 第26回示現会展 初出品(以後連続)
- 1974年 示現会会友
- 1976年 示現会準会員
- 1982年 示現会会員、福岡県美術協会会員
- 1984年 筑後市社会功労賞
- 1992年 サロン・ド・オートヌ会員
- 2018年 逝去(享年96歳)

福岡県美術協会展、筑後市美術協会展、個展(9回)、グループ展(29回)、海外取材研修旅行28回

示現会 会員、福岡県美術協会 会員、サロン・ド・オートヌ 会員、筑後市美術協会 会員、久留米連合文化会 会員、八女文化連盟 会員

お問合せ ちくこJR芸術の郷事業団
(筑後広域公園芸術文化交流施設 九州芸文館)

〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131 TEL.0942-52-6435

[九州新幹線・JR鹿児島本線「筑後船小屋駅」徒歩1分]

URL <https://www.kyushu-geibun.jp>

九州芸文館
KYUSHU GEIBUN-KAN

交通案内

- 【JR】九州新幹線「筑後船小屋駅」(博多駅から約25分)より徒歩約1分
- 鹿児島本線「筑後船小屋駅」(博多駅から快速で約50分)より徒歩約1分
- 【西鉄バス】50番(久留米-高良台-羽犬塚-船小屋)「筑後船小屋前」より約1分
- 【車】九州自動車道「八女IC」より約10分、「みやま柳川IC」より約15分
- 【駐車場】103台(2時間まで無料/以降1時間100円)

